

曾於市青少年海外派遣事業シアトル研修

曾於市教育委員会では平成22年度から「曾於市青少年海外派遣事業」を実施して、曾於市出身の高校生をアメリカのシアトルに派遣しています。そのねらいは、海外でのホームステイや現地の学校における学びを通して、国際的視野を広めるとともに心身共にたくましく思いやりのある青少年の育成を図ることです。今年も夏休み期間中の約1カ月間、8名の高校生が参加しました。

以下の内容は、8月27日に市役所本庁で開催された帰国報告会で8名の皆さんが述べた感想を一部抜粋して掲載しています。



フィールドトリップ（課外授業）：飛行機博物館にて

都城西高等学校 一年 佐野 萌美

この研修をふり返ると始めの頃はとても長いという印象を持っていましたが、あつという間の一カ月でした。そしてこの一カ月の間で失敗や深く考え直す事が多々おこりました。私が一番戸惑ったのは「日常の何でもない会話」です。授業や説明を聞いて発表するのはついていけましたが、買い物の時、店員に話しかけられ、なんと答えれば良いのか分からず戸惑うこともありました。ですが間違っても良いから積極的に話すことに努めると少しずつですが会話がはずむようになったと感じます。他にも様々な出来事が起こりました。

今回の研修では英語力の向上はもとより、様々な出来事を通して一人の人間としても成長できたように感じ、とても実り豊かな一カ月となりました。

この研修に携わってくださった全ての人への感謝の気持ちを忘れず、研修で学んだことを糧にこれからの日々を生かしていきたいと思っています。

都城西高等学校 二年 新地 星碧

今回の研修はたくさんさんの良い経験をする事ができ、私の中で一番の思い出であり、一生の宝物になりました。

最初は、聞くことや見るものが全てが新鮮で毎日新たな発見をすることが楽しかったです。その反面、生活の中で使われる英語という言語の違いに不安を持つこともありましたが、アメリカ人の優しさや仲間達に囲まれその不安が一気になくなり、自分から積極的に話そうとする意識が変わっていき大きな成長ができたと思います。学校生活では、他国の友だちとふれあう機会がたくさんあり、文化の違いや考えを知ることができ

毎日が楽しかったです。また、この研修にあたり「留学したい」って思う気持ちが強くなりました。それと同時に、自分の英語力の無さをすごく実感したので、この研修を原点にし、これからもっと勉強していきたいと思っています。

このような良い経験をさせてくださった曾於市の方々や親に感謝しています。ありがとうございました。

都城西高等学校 一年 小園 愛妃

私はシアトルで一生忘れられない思い出を作ることができました。行く前は言葉が通じるかどうか不安でしたが、ホストファミリーに教えていただいたり、友達に聞いたりして少しずつですが自分の英語力を鍛えることができたと思います。

アメリカで過ごす中でいいと思ったことは、初対面でも友達のように話せることです。最初はとても戸惑いでしたが、話しかけられるにつれて話も続けられるようになり、色々な体験ができました。

この研修を通して、英語力だけではなく、積極的に行動することの大切さを知りました。援助して下さった市の方々、行かせてくれた両親、そして現地で出会った全ての方々への感謝を忘れず、今後に生かしていきたいです。

志布志高等学校 一年 西村 舞音

私は、シアトルに一カ月間住んでみて、このままここに住みたいと思う程、毎日が充実していました。もちろん楽しいことばかりではなく、失敗や困難もありました。初日に二時間も迷い、とても困りました。しかし、街を散策もできたり、いろんな人と話をする事ができ、そして自分の英語が通じたことがとても嬉

しくて、大変だったけれど今となっては楽しい思い出となりました。その後のシアトルでの生活はすべてのことが新鮮で人との出会いがこんなにも素晴らしいと思う毎日でした。また、偶然にも私の親戚の絵画や習字を見つけてびっくりすることもありました。

今回の研修で自分から積極的に話しかけることができるようになり、国籍は違っても通じあうことができたのだということもわかりました。

私の母親は、何事も挑戦だから後悔のないようにしなさいと言ってくれます。とても理解があり、貴重な経験をさせてくれたことを感謝しています。

今回の研修で学んだことを生かせることができるように、これからも挑戦し続け頑張りたいと思います。

龍桜高等学校 一年 肝付 歩美

私は一ヶ月という短い期間で忘れられない思い出をつくることができました。

最初は、言葉が通じるか不安でしたがジェスチャーなどを交えながらコミュニケーションをとることができました。

ホストファミリーは、毎日バス停に送ってくれたり、いろんな話をしてくれたりとても私に優しくしてくれました。学校では、いろいろな国の友達を作ることができて、たくさんのことを学ぶことができました。

最後の一週間で行われたフィールドトリップでは、カナダ旅行をはじめとするチョコレート工場、マイクロソフト社見学など、貴重な体験をすることができました。

私はこの経験をこれから生かしていきたいです。そして、この研修に参加させてくださった、市の方々、両親に感謝したいと思います。

志布志高等学校 一年 三島 愛音

私は、今回のシアトル研修に参加して学んだことが

たくさんあります。この一カ月は発見や驚きの繰り返しでした。

最初は、不安でいっぱいでしたがホストファミリーがたくさん話しかけてくれたり、いっしょにスポーツやゲームをして少しずつ慣れてきました。一日一日が過ぎて行く中で、文化の違いに気づくことができました。

食生活はもちろんのことですが、細かい部分をみていくとアメリカの方は、親切心がとてもあることに気づきました。例えば、外に出るとき、先に自分がドアを開けたのにも関わらず待っていると、(先にどうぞ)とジェスチャーをしてくれたり、困っている人がいるとすぐに手伝っていました。他にも、お店にいくと笑顔であいさつしてくれたり、明るくて元気な方が多くて自分たちまで元氣になれました。

フィールドトリップでは、お金に困っていて食糧を買うことができない方に食糧を配布するというボランティアを経験しました。はじめは、嫌だなと思っていたはずなのに時間が経っていくうちに楽しくて人の役に立ててよかったなという気持ちに変わっていました。

このような色々な経験ができたのも、たくさんの方々のおかげです。感謝の気持ちを忘れずこれからの人生で、今回の経験を生かしたいと思います。

曾於高等学校 一年 池田 里桜

この夏、この企画を通してシアトルに行き、私はたくさんの事を学びました。

シアトルは「自然」と「都会」が同時に存在する、住みやすくて素晴らしい町でした。学校ではいろんな国の友達がたくさんできました。「フィールドトリップ」という学校の課外授業では、スーパーや図書館に行き、お金の使い方や買い物の仕方を学びました。他にも、「マリナーズ観戦」や「チョコレート工場見学」

など、たくさんの場所に行き、本場のアメリカを味わう事ができました。それらは全て新鮮で、エキサイティングでした。

しかし、楽しい事だけではなく、大変な事や失敗もたくさんしました。自分の英語力はまだまだ足りず、アメリカ人との意思疎通に苦労しました。また、バスを乗り過ごし、迷子になってしまった事もありました。自分の未熟さを、深く思い知りました。しかしそれらの失敗からたくさん課題が見えてきました。今回学んだことを活かし、失敗から見つける事が出来た課題を一つ一つクリアして、大きく成長したいです。アメリカでの一ヶ月、本当に良い経験になりました。ありがとうございました。

曾於高等学校 一年 篠原 星菜

最初は日本語が通じなくて、自分が伝えたいこともなかなか伝わらなくて少しとまどったけど、どんどん話していくうちに慣れました。そのおかげでシアトルに行く前よりも英語を話せるようになったと思います。

また、シアトルでは、いろいろな体験をすることができました。外国の学校を体験したり、買い物に行ったり、バスに乗ったり、フィールドトリップでガラス工場やチョコレート工場に見学に行ったり、たくさんのパーティーに参加したりなどたくさん体験しました。

そして、日本からの留学生の先輩方ともシアトルについてはもちろん、進路のことなどたくさんのお話をしました。

日本に無事、帰国することができたので、曾於市や応援してくださった方々、両親に感謝してしっかりと恩返しをしたいと思います。そして、学んだことを生かしたいです。本当にありがとうございました。